

JATA16-18
2016年9月15日

「2016年9月期(第2回) 旅行市場動向調査」

一般社団法人 日本旅行業協会(JATA)では、会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、登録のあった532社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施しております。今回、9月期の調査がまとまりましたのでお知らせします。

●海外旅行DIは、6月期(-40)より5ポイント上昇して-35

- ・業態別では、総合旅行会社、インハウス、ネット系旅行会社は上昇、海外旅行系旅行会社は下落。
- ・方面別では、ハワイ(0)は上位を維持。アジア(-2)、オセアニア(-13)は上昇し上位に。韓国(-46)は継続して上昇。ヨーロッパ(-71)は下落。
- ・顧客層別では、商用・視察は下落したが上位、シニアは横ばい。

○3カ月後は、4ポイント上昇し - 31へ。6カ月後は、6ポイント上昇し -29へ。

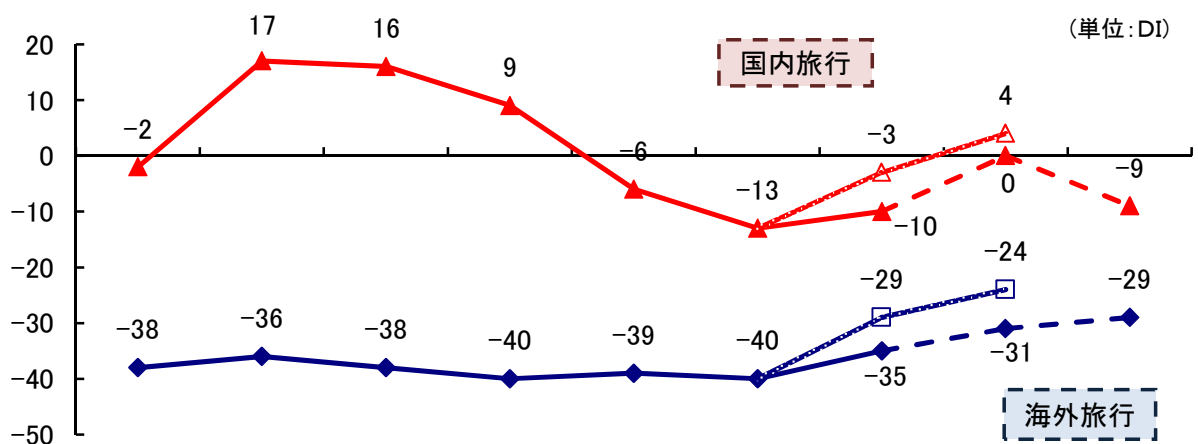
・3カ月後は、海外旅行系旅行会社、総合旅行会社、リテラー1は回復傾向。方面別では、アジアは上位に、6カ月後は、総合旅行会社の継続的な回復が見込まれ、ヨーロッパは徐々に回復傾向。

●国内旅行DIは、6月期(-13)より3ポイント上昇して-10

- ・業態別では、インハウス、リテラー1は上昇が顕著。
- ・方面別では、北海道(+5)は横ばいで上位でプラスを維持。東京(+3)は上昇しプラスに転じ、京阪神(+3)は下落したがプラスを維持。熊本地震により大きく下落した九州(-36)は大きく上昇。北陸(-9)は下落が継続。

○3カ月後は、10ポイント上昇し0へ。6カ月後は、1ポイント上昇し-9へ。

・3カ月後は、業態別ではインハウスを除き上昇見込み、方面別では、北海道は大きく下落、京阪神は1桁台のプラスを維持するもの下落傾向、九州は徐々に回復傾向、6カ月後は、北海道の下落が大きい。



	1年半前 (1~3月)	1年 3カ月前 (4~6月)	1年前 (7~9月)	9カ月前 (10~12月)	6カ月前 (1~3月)	3カ月前 (4~6月)	現況 (7~9月)	3カ月後 (10~12月)	6カ月後 (1~3月)
海外旅行全般	-38	-36	-38	-40	-39	-40	-35 ※-29	-31 ※-24	-29
国内旅行全般	-2	17	16	9	-6	-13	-10 ※-3	0 ※4	-9

※2016年6月期調査見通し数値

■旅行市場動向調査について

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、会員1168社中、登録のあった532社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施し、その結果を発表しております。

「旅行市場動向調査」は、現況・先行き（3ヵ月後・6ヵ月後）についてのアンケートを実施し、旅行市場の動向を把握することを目的としております。

調査では各質問事項に対し「良い」「普通」「悪い」「取り扱っていない」で評価を求め、回答数から「取り扱っていない」（無回答を含む）の回答を除いたものを母数として各回答のシェアを算出し、「良い」を選んだ割合（%）から「悪い」を選んだ割合（%）を引いて、「D I」（=Diffusion Index ディフュージョン・インデックス）という景気動向指数に加工して発表しています。

D I 値の範囲は、全て良い（100）から、全て悪い（-100）の間の評価となります。

今年度より更に詳細なデータとなるように、業態別区分に「ネット系旅行会社」並びに、見通し数値について「6ヵ月後」を加えて調査をしております。

次回の2016年12月期（第3回）旅行市場動向調査より業態別区分に新たに「訪日旅行系旅行会社」を加えて、「訪日旅行」の旅行市場動向調査を実施し結果を発表します。

◆調査概要

調査地域	： 全国
調査対象	： J A T A 会員各社の経営者など
調査方法	： インターネット調査
調査期間	： 2016年8月8日（月）～8月29日（月）
設定数	： 532社
回収数	： 309社
回収率	： 58.1%

◆業態別区分について

「旅行市場動向調査」では、各業況を業態別に分析しています。

各業態の定義と今回調査での回答件数は下記の表の通りとなっております。

業態名	定義	社数	比率
総合旅行会社	全国にネットワークを持ち、全分野に商品を持つ大規模な旅行会社	41	13.3%
海外旅行 ホールセラー	海外旅行を専業とするホールセラー会社	18	5.8%
海外旅行系 旅行会社	旅行業の取扱額が50億円以上で、うち海外旅行の取扱額が80%以上の旅行会社	15	4.9%
国内旅行 ホールセラー	国内旅行を専業とするホールセラー会社	12	3.9%
リテラー1	上記以外で 旅行業の取扱額が30億円以上の旅行会社	33	10.7%
リテラー2	上記以外で 旅行業の取扱額が30億円未満の旅行会社	131	42.4%
インハウス	親会社の業務渡航などを中心に行っている旅行会社	47	15.2%
ネット系 旅行会社	上記以外でインターネット販売が 中心である会社	12	3.9%

* ホールセラー … パッケージツアーの企画・販売を専門に行う旅行会社

この資料についてのお問い合わせは、JATA広報室までお願いします。
なお、本データはJATAホームページ <http://www.jata-net.or.jp> でご覧になれます。
TEL : (03)3592-1244

■海外旅行全般の業況について

現況は、6月期より5ポイント上昇し、マイナス35へ。
 総合旅行会社、インハウス、ネット系旅行会社は上昇、海外旅行系旅行会社は下落が顕著。
 ハワイは1ポイント上昇し上位を維持。アジアは6ポイント、オセアニアは11ポイント上昇。
 韓国は8ポイントと上昇が継続。ヨーロッパは7ポイントの下落。
 商用・視察は6ポイント下落したが上位、シニアは横ばい。
 3ヵ月後は、4ポイント上昇しマイナス31、6ヵ月後は、6ポイント上昇しマイナス29を見込む。

総合

6月期より5ポイント上昇し、見通しを6ポイント下回る-35へ。業態別では、ネット系旅行会社(-33)は17ポイント、インハウス(-25)は15ポイント、総合旅行会社(-49)は14ポイント、海外旅行ホールセラー(-44)は4ポイント上昇した反面、海外旅行系旅行会社(-27)は21ポイント下落。方面別ではハワイ(0)は1ポイント上昇し上位を維持。アジア(-2)は6ポイント、オセアニア(-13)は11ポイント上昇し上位に。韓国(-46)は8ポイントと上昇が継続。ヨーロッパ(-71)は7ポイント下落し下位に。顧客層別では学生(-48)は11ポイント、ファミリー(-33)は9ポイント、OL(-41)、教育旅行(-33)は6ポイント上昇。商用・視察(-20)は6ポイント下落したが上位を維持、シニア(-24)は横ばい。

現況(7~9月)

ハワイ、アジアは上位を維持、韓国は上昇が継続、ヨーロッパは下落。

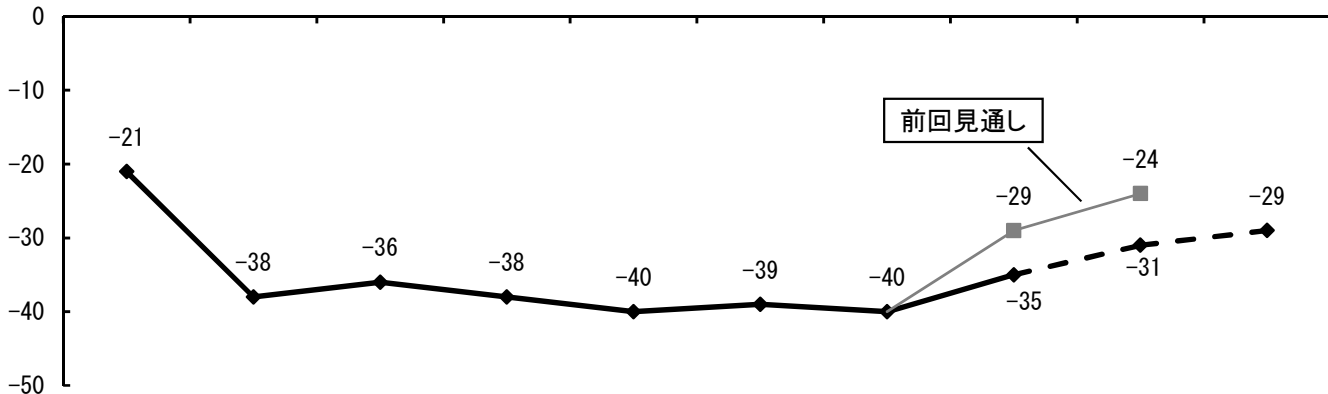
- ・ハワイ方面は堅調だが、ヨーロッパ方面がテロの影響で低調、韓国は好調。北欧やオーストラリア・ニュージーランドなど自然を目的とする方面は比較的好調。(第1種/総合旅行会社)
- ・インバウンド増で航空座席が取れない。テロや政情不安で団体が減少。(第1種/海外旅行ホールセラー)
- ・昨年9月にはシルバーウィークがあり、9月出発分は前年を割っている状況。(第1種/海外旅行系旅行会社)
- ・韓国は、昨年のマーズからの反動もあり比較的好調に推移。(第1種/ネット系旅行会社)
- ・海外旅行全般は3ヵ月前(4~6月)より5ポイント上昇し、-35。

3ヵ月後、6ヵ月後の見通し アジアが上昇傾向、ヨーロッパは徐々に回復傾向。

- ・韓国や台湾は上向いている。タイ・ベトナムが好調(第1種/海外旅行ホールセラー)
- ・台湾・ベトナム・バンコク・シンガポール・香港は人気、ヨーロッパも回復傾向。(第1種/リテラー1)
- ・ヨーロッパは円高傾向、燃油サーチャージの値下がりの影響で比較的良好。(第1種/インハウス)
- ・3ヵ月後(10~12月)は4ポイント上昇し-31。6ヵ月後(1~3月)は6ポイント上昇し-29。

N:有効回答数
(N=272)

(単位: D I)



2年前 (7~9月)	1年半前 (1~3月)	1年 3ヵ月前 (4~6月)	1年前 (7~9月)	9ヵ月前 (10~12月)	6ヵ月前 (1~3月)	3ヵ月前 (4~6月)	現況 (7~9月)	3ヵ月後 (10~12月)	6ヵ月後 (1~3月)
-21	-38	-36	-38	-40	-39	-40	-35	-31	-29
							※-29	※-24	

※2016年6月期調査見通し数値

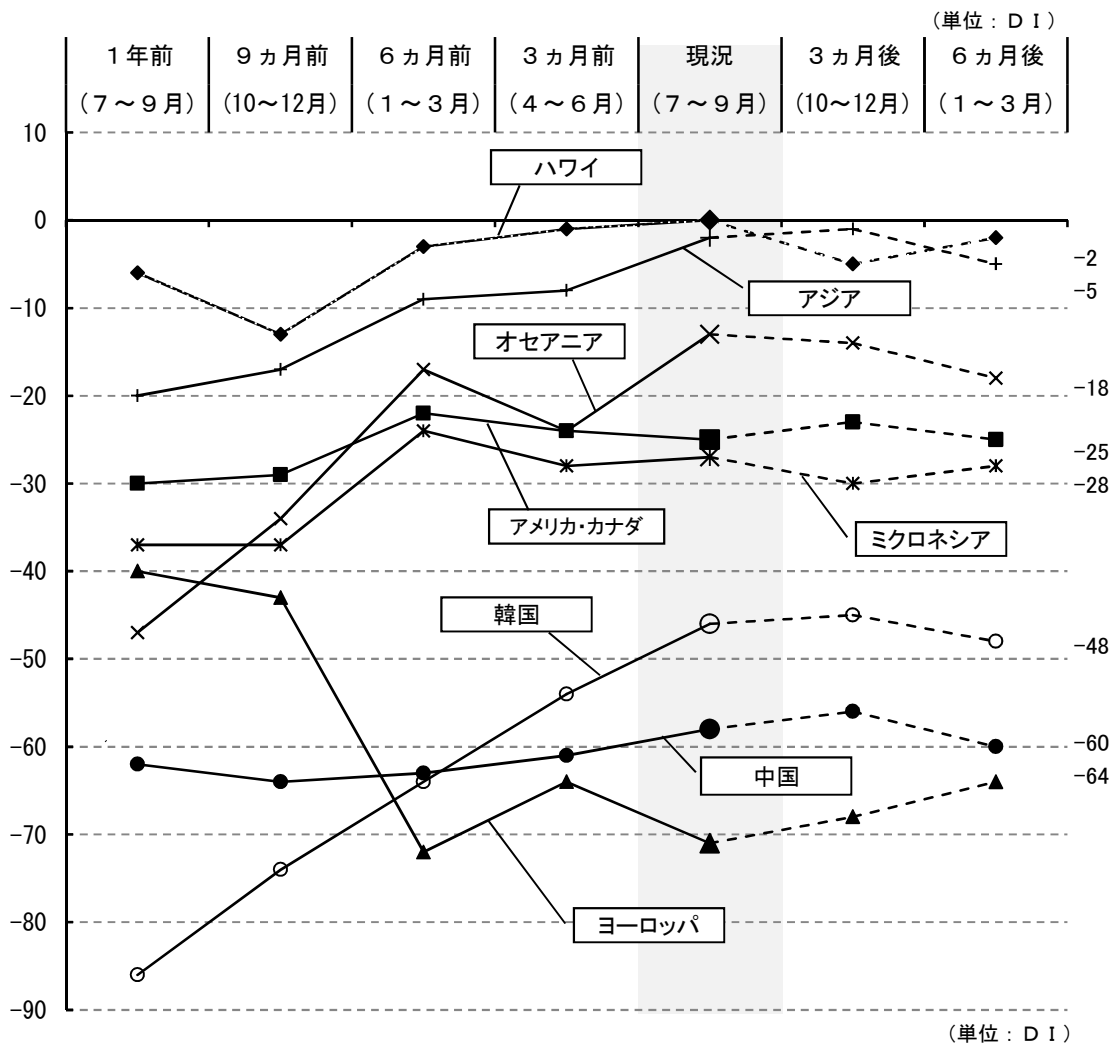
	1年半前 (1~3月)	1年 3ヵ月前 (4~6月)	1年前 (7~9月)	9ヵ月前 (10~12月)	6ヵ月前 (1~3月)	3ヵ月前 (4~6月)	現況 (7~9月)	3ヵ月後 (10~12月)	6ヵ月後 (1~3月)
総合旅行会社	-56	-64	-49	-68	-71	-63	-49	-33	-14
海外旅行ホールセラー	-74	-62	-55	-61	-53	-48	-44	-44	-28
海外旅行系旅行会社	6	-11	-12	-6	-18	-6	-27	0	0
リテラー1	-64	-32	-45	-57	-39	-38	-40	-27	-23
リテラー2	-37	-36	-39	-37	-36	-39	-33	-32	-38
インハウス	-16	-19	-26	-19	-22	-40	-25	-24	-31
ネット系旅行会社	-	-	-	-	-	-50	-33	-33	-50

◆海外旅行の需要動向（方面別）

現況は、ハワイは上位を維持。
 アジア、オセアニアは上昇し上位に。韓国は継続して上昇。
 ヨーロッパは下落し下位、中国は下位で横ばい。アメリカ・カナダ、ミクロネシアは横ばい。
 3ヵ月後は、ハワイは下落し、アジアが上昇し最上位に。韓国は回復傾向が継続。
 6ヵ月後は、ハワイ、アジアは上位を維持。ヨーロッパは下位だが、徐々に回復傾向。

- ・ 現況は3ヶ月前(4～6月)に比べ、ハワイ(1ポイント増)は上位を維持。アジア(6ポイント増)は上昇し、オセアニア(11ポイント増)も大きく上昇し上位に。韓国(8ポイント増)は上昇傾向が継続。ヨーロッパ(7ポイント減)は再び下落に転じ下位。中国(3ポイント増)は上昇したが下位で横ばい。ミクロネシア(1ポイント増)、アメリカ・カナダ(1ポイント減)は中位で横ばい。
- ・ 3ヵ月後(10～12月)は、ハワイ(5ポイント減)は下落し、アジア(1ポイント増)が上昇し最上位に。韓国(1ポイント増)は上昇し回復傾向が継続。下位だがヨーロッパ(3ポイント増)、中国(2ポイント増)は上昇。6ヵ月後(1～3月)は、ハワイ(2ポイント減)、アジア(3ポイント減)は下落したが上位を維持。ヨーロッパ(7ポイント増)は下位だが徐々に回復傾向。中国(2ポイント減)は下位で横ばい。

N:有効回答数
(N=272)



	1年前 (7～9月)	9ヵ月前 (10～12月)	6ヵ月前 (1～3月)	3ヵ月前 (4～6月)	現況 (7～9月)	3ヵ月後 (10～12月)	6ヵ月後 (1～3月)
ハワイ	-6	-13	-3	-1	0	-5	-2
アメリカ・カナダ	-30	-29	-22	-24	-25	-23	-25
ヨーロッパ	-40	-43	-72	-64	-71	-68	-64
オセアニア	-47	-34	-17	-24	-13	-14	-18
ミクロネシア	-37	-37	-24	-28	-27	-30	-28
アジア	-20	-17	-9	-8	-2	-1	-5
中国	-62	-64	-63	-61	-58	-56	-60
韓国	-86	-74	-64	-54	-46	-45	-48

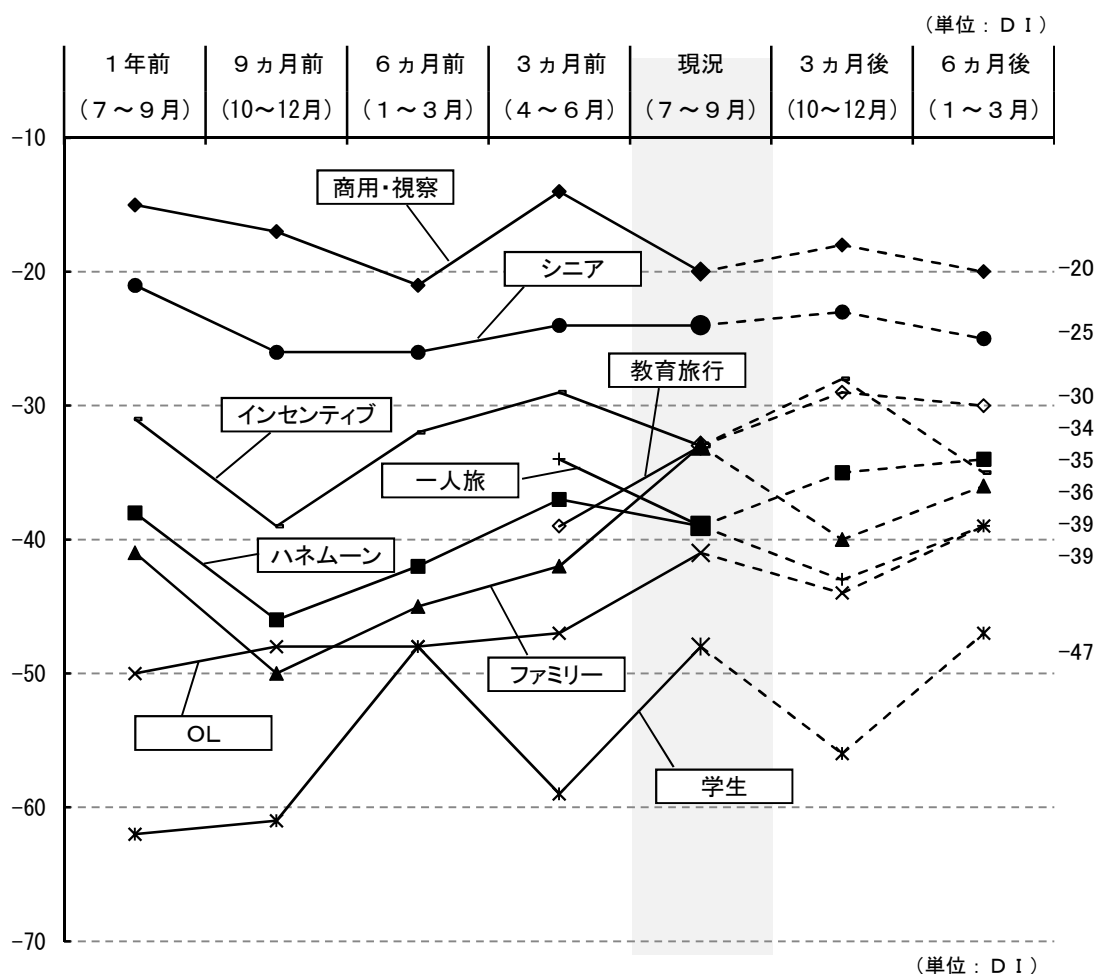
(単位：DI)

◆海外旅行の需要動向（顧客層別）

現況は、ファミリーは上昇が継続。学生、OL、教育旅行も上昇。
 商用・視察は下落したが上位を維持。シニアは横ばい。
 3ヵ月後は、学生は大きく下落、ファミリーも下落に転じ、商用・視察、シニアは上位で横ばい。
 6ヵ月後は、ハネムーンは上昇傾向、商用・視察は上位を維持。

- ・ 現況は3ヶ月前(4～6月)に比べ、ファミリー(9ポイント増)は上昇が継続。学生(11ポイント増)、OL(6ポイント増)、教育旅行(6ポイント増)は上昇。商用・視察(6ポイント減)は下落したが上位を維持。シニア(±0)は横ばい。一人旅(5ポイント減)、インセンティブ(4ポイント減)、ハネムーン(2ポイント減)は下落。
- ・ 3ヵ月後(10～12月)は、学生(8ポイント減)は大きく下落。ファミリー(7ポイント減)も下落に転じ、商用・視察(2ポイント増)、シニア(1ポイント増)は上位で横ばい。インセンティブ(5ポイント増)、ハネムーン(4ポイント増)、教育旅行(4ポイント増)は上昇。一人旅(4ポイント減)、OL(3ポイント減)は下落。6ヵ月後(1～3月)は、ハネムーン(5ポイント増)は上昇し回復傾向。商用・視察(±0)は横ばいで上位を維持。教育旅行(3ポイント増)、OL(2ポイント増)、学生(1ポイント増)は上昇。ファミリー(3ポイント減)、インセンティブ(2ポイント減)、シニア(1ポイント減)は下落。一人旅(±0)は横ばい。

N:有効回答数
(N=272)



	1年前 (7～9月)	9ヵ月前 (10～12月)	6ヵ月前 (1～3月)	3ヵ月前 (4～6月)	現況 (7～9月)	3ヵ月後 (10～12月)	6ヵ月後 (1～3月)
ハネムーン	-38	-46	-42	-37	-39	-35	-34
ファミリー	-41	-50	-45	-42	-33	-40	-36
OL	-50	-48	-48	-47	-41	-44	-39
学生 (教育旅行を除く)	-62	-61	-48	-59	-48	-56	-47
シニア (60歳以上)	-21	-26	-26	-24	-24	-23	-25
一人旅	-	-	-	-34	-39	-43	-39
インセンティブ(*)	-31	-39	-32	-29	-33	-28	-35
商用・視察	-15	-17	-21	-14	-20	-18	-20
教育旅行	-	-	-	-39	-33	-29	-30

*「インセンティブ」: 企業・団体等が従業員への報奨として提供する旅行

■国内旅行全般の業況について

現況は6月期より3ポイント上昇し、見通しを7ポイント下回るマイナス10へ。
 インハウス、リテラー1は、大きく上昇。
 上位の北海道は横ばい、京阪神は下落したがプラスを維持。
 東京は上昇しプラスに転じ、九州は下位だが大きく上昇。北陸は下落が継続。
 3ヵ月後は、10ポイント上昇し0へ。6ヵ月後は、1ポイント上昇し-9へ。

総合

6月期より3ポイント上昇し、見通しを7ポイント下回る-10へ。業態別では、インハウス(+8)は16ポイントと大きく上昇しプラスに。リテラー1(-21)は13ポイント、リテラー2(-9)は2ポイント上昇。総合旅行会社(-13)は横ばい。ネット系旅行会社(-44)は11ポイント、国内旅行ホールセラー(-28)は8ポイント下落。北海道(+5)は横ばいでプラスを維持し上位。京阪神(+3)は6ポイント下落したがプラスを維持。東京(+3)は7ポイント上昇しプラスに転じ、九州(-36)は下位だが34ポイントと上昇が著しい。北陸(-9)は5ポイントと下落が継続。沖縄・奄美大島(-2)は3ポイント上昇。団体旅行では、教育(-16)は横ばい。サークル・親睦(-17)は7ポイント、職場(-17)は3ポイント、招待・報奨(-23)は2ポイント上昇。個人観光旅行は、シニア(-1)は上位だが、2ポイント下落しマイナスに。ファミリー(-5)は19ポイントと大きく上昇。OL(-26)は10ポイント上昇し、一人旅(-30)は1ポイント下落。

現況(7~9月)

北海道は上位を維持。九州は「ふっこう割」により上昇。

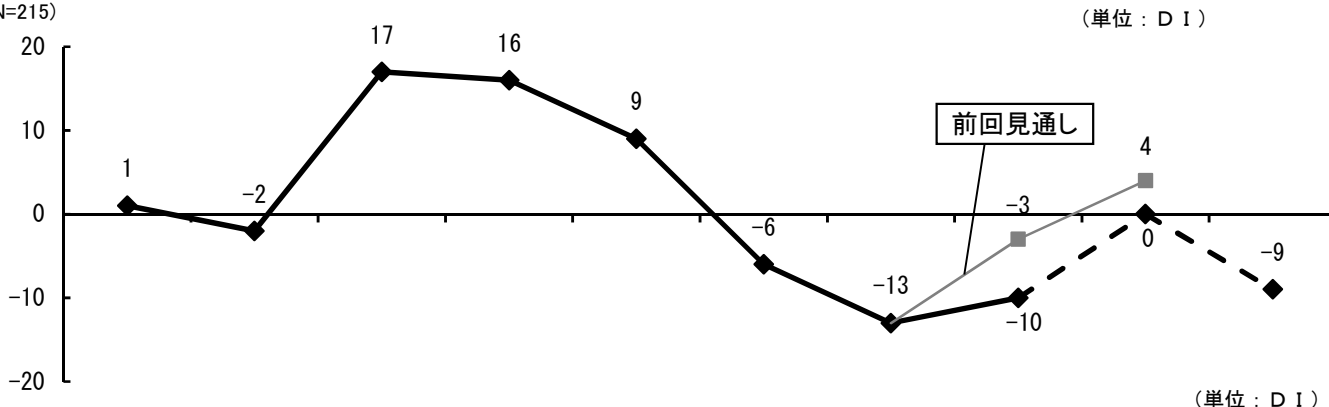
- ・九州は「ふっこう割」により宿泊商品は順調、反動で関西方面が落ち込んでいる。新幹線効果に沸く北海道は好調に推移(第1種/総合旅行会社)
- ・貸切バスの高騰でバスツアーは低調。インバウンドで関西のホテルが高騰。(第1種/国内旅行ホールセラー)
- ・北陸新幹線効果もほぼ一段落。インバウンド増でホテル及び他施設の確保が困難。(第1種/リテラー2)
- ・TDRは根強い人気で安定。沖縄はファミリー層の需要が多い。(第1種/インハウス)
- ・国内旅行全般は3ヵ月前(4~6月)より3ポイント上昇し、-10。

3ヵ月後、6ヵ月後の見通し

九州は徐々に回復傾向、北海道は下落傾向。

- ・九州は「ふっこう割」の影響もあり少しづつ回復基調。関西・関東方面の宿泊施設確保が厳しく伸び悩んでいる。(第1種/総合旅行会社)
- ・訪日旅行の影響でホテル、バスともに取り難い。(第1種/リテラー1)
- ・USJ・東京ディズニーランドなどのテーマパークは相変わらず人気がある。昨年は北陸新幹線需要の旅行が多かったが、北海道新幹線需要は北陸ほどではない。(第1種/リテラー2)
- ・3ヵ月後(10~12月)は10ポイント上昇し0。6ヵ月後(1~3月)は1ポイント上昇し-9。

N:有効回答数
(N=215)



2年前 (7~9月)	1年半前 (1~3月)	1年 3ヵ月前 (4~6月)	1年前 (7~9月)	9ヵ月前 (10~12月)	6ヵ月前 (1~3月)	3ヵ月前 (4~6月)	現況 (7~9月)	3ヵ月後 (10~12月)	6ヵ月後 (1~3月)
1	-2	17	16	9	-6	-13	-10	0	-9
							※-3	※4	

※2016年6月期調査見通し数値

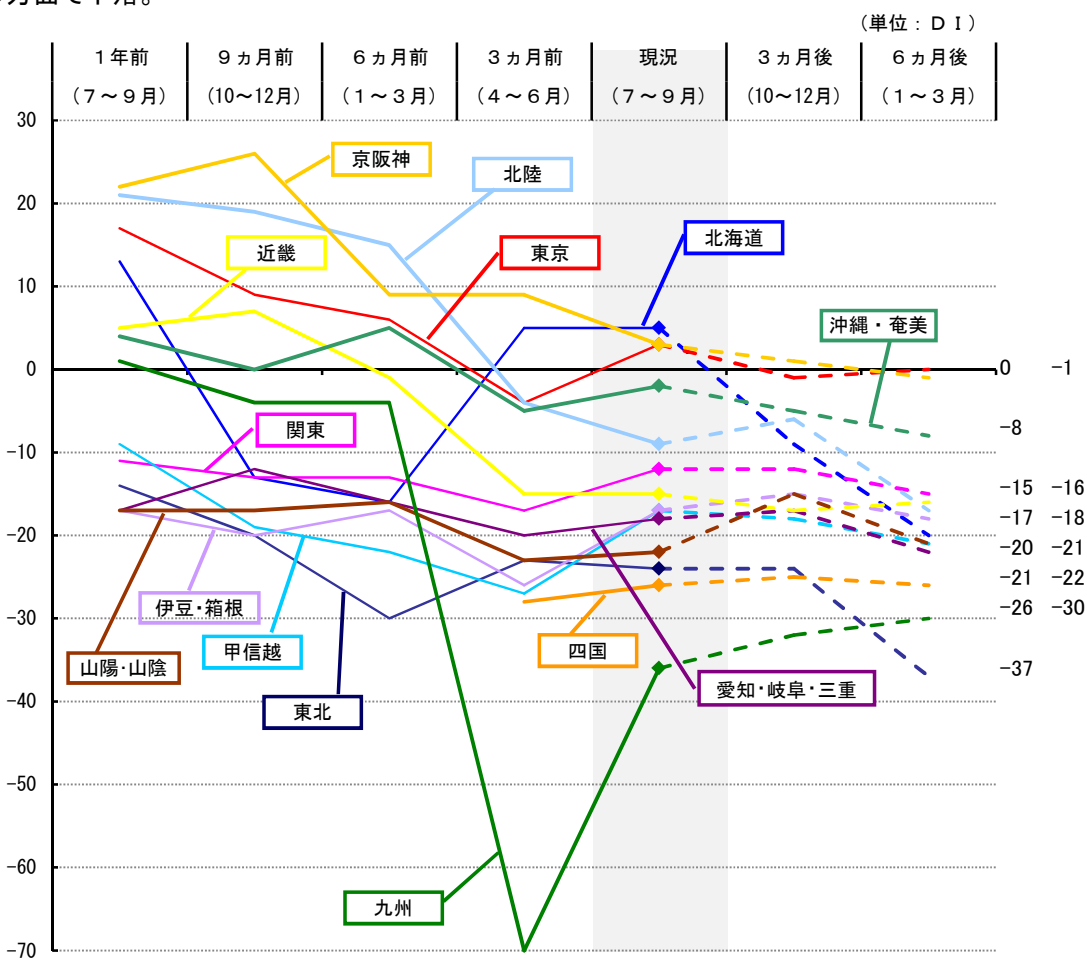
	1年半前 (1~3月)	1年 3ヵ月前 (4~6月)	1年前 (7~9月)	9ヵ月前 (10~12月)	6ヵ月前 (1~3月)	3ヵ月前 (4~6月)	現況 (7~9月)	3ヵ月後 (10~12月)	6ヵ月後 (1~3月)
総合旅行会社	15	32	32	11	4	-13	-13	0	-3
国内旅行ホールセラー	-40	-9	-10	-20	-83	-20	-28	-18	0
リテラー1	12	37	41	25	0	-34	-21	0	0
リテラー2	-9	12	8	6	-7	-11	-9	4	-15
インハウス	-2	16	9	10	-2	-8	8	-2	-10
ネット系旅行会社	-	-	-	-	-	-33	-44	-33	-22

◆国内旅行の需要動向（方面別）

現況は、北海道は横ばいだが、上位でプラスを維持。
 京阪神は下落したがプラスを維持。東京は上昇しプラスに転じ、九州は下位だが上昇が著しい。
 北陸は下落が継続。沖縄・奄美大島は上昇。
 3ヵ月後は、北海道は大きく下落、京阪神は1桁台のプラスを維持するものの下落傾向。
 6ヵ月後は、北海道の下落が顕著、九州は徐々に回復傾向。

- ・ 現況は3ヶ月前(4～6月)に比べ、北海道(±0)は横ばいだが、上位で1桁台のプラスを維持。京阪神(6ポイント減)は下落したが1桁台のプラスを維持。東京(7ポイント増)は上昇し1桁台のプラスに転じた。九州(34ポイント増)は下位だが大きく上昇。北陸(5ポイント減)は下落が継続。沖縄・奄美(3ポイント増)は上昇。甲信越(10ポイント増)、伊豆・箱根(9ポイント増)、関東(5ポイント増)、愛知・岐阜・三重(2ポイント増)、四国(2ポイント増)、山陽・山陰(1ポイント増)も上昇し、近畿(±0)は横ばい、東北(1ポイント減)は下落。
- ・ 3ヵ月後(10～12月)は、北海道(14ポイント減)は大きく下落し、プラスからマイナスに。京阪神(2ポイント減)は1桁台のプラスを維持するものの下落傾向。東京(4ポイント減)は下落しプラスからマイナスに。九州(4ポイント増)は上昇。山陽・山陰、北陸、伊豆・箱根、愛知・岐阜・三重、四国も上昇、東北、関東は横ばい、沖縄・奄美、近畿、甲信越は下落。6ヵ月後(1～3月)は、北海道(25ポイント減)、東北(13ポイント減)は大きく下落。九州(6ポイント増)は上昇し徐々に回復傾向。九州、山陽・山陰の上昇と四国の横ばいを除き全ての方面で下落。

N:有効回答数
(N=215)



(単位：D1)

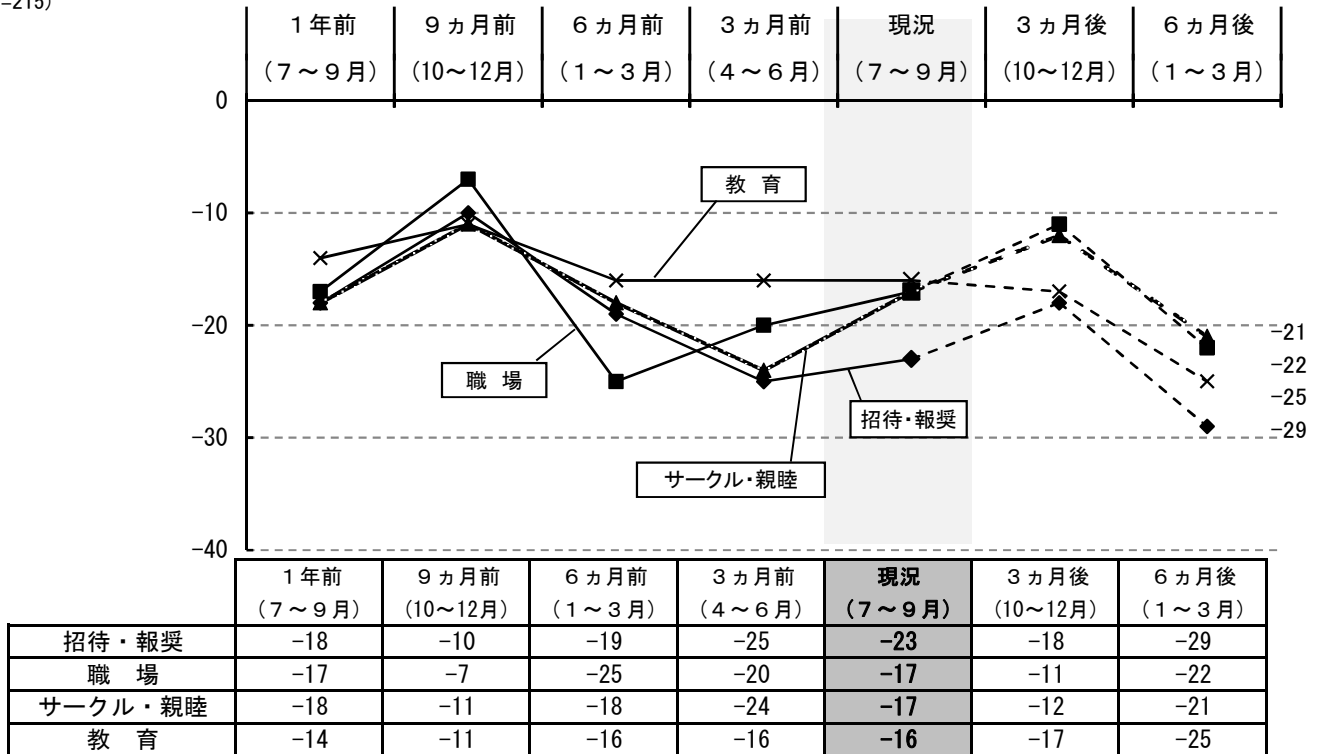
	1年前 (7～9月)	9ヵ月前 (10～12月)	6ヵ月前 (1～3月)	3ヵ月前 (4～6月)	現況 (7～9月)	3ヵ月後 (10～12月)	6ヵ月後 (1～3月)
北海道	13	-13	-16	5	5	-9	-20
東北	-14	-20	-30	-23	-24	-24	-37
東京(TDR・横浜を含む)	17	9	6	-4	3	-1	0
関東	-11	-13	-13	-17	-12	-12	-15
甲信越	-9	-19	-22	-27	-17	-18	-21
伊豆・箱根(静岡を含む)	-17	-20	-17	-26	-17	-15	-18
愛知・岐阜・三重	-17	-12	-16	-20	-18	-17	-22
北陸	21	19	15	-4	-9	-6	-17
京阪神(京都・大阪・USJ)	22	26	9	9	3	1	-1
近畿	5	7	-1	-15	-15	-17	-16
山陽・山陰	-17	-17	-16	-23	-22	-15	-21
四国	-	-	-	-28	-26	-25	-26
九州	1	-4	-4	-70	-36	-32	-30
沖縄・奄美	4	0	5	-5	-2	-5	-8

◆国内旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3ヶ月前(4～6月)に比べ、サークル・親睦(7ポイント増)、職場(3ポイント増)、招待・報奨(2ポイント増)は上昇、教育(±0)は横ばい。
- ・ 3ヵ月後(10～12月)は、職場(6ポイント増)、招待・報奨(5ポイント増)、サークル・親睦(5ポイント増)は上昇、教育(1ポイント減)は下落。6ヵ月後(1～3月)は、全ての区分で下落。教育(9ポイント減)、招待・報奨(6ポイント減)、職場(5ポイント減)、サークル・親睦(4ポイント減)。

N:有効回答数
(N=215)

(単位: D I)



◆国内旅行の需要動向（個人観光旅行）

- ・ 現況は3ヶ月前(4～6月)に比べ、シニア(2ポイント減)は下落し、プラスからマイナスに転じた。ファミリー(19ポイント増)は大きく上昇。OL(10ポイント増)も上昇し、一人旅(1ポイント減)は下落。
- ・ 3ヵ月後(10～12月)は、シニア(6ポイント増)は上昇し、マイナスからプラスに。一人旅(4ポイント増)、OL(1ポイント増)も上昇、ファミリー(9ポイント減)は下落。6ヵ月後(10～12月)は、シニア(2ポイント減)は下落し上位だがマイナスに。一人旅(2ポイント増)は上昇、ファミリー(9ポイント減)、OL(1ポイント減)は下落。

N:有効回答数
(N=215)

(単位: D I)

